Panasonic 持込修理

コーヒーメーカー保証書

本書はお買い上げの日から下記期間中故障が発生した場合には本書裏面記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。ご記入いただきました個人情報の利用目的は本票裏面に記載しております。お客様の個人情報に関するお問い合わせは、お買い上げの販売店にご連絡ください。詳細は裏面をご参照ください。

品　番	NC−P26
保証期間	お買い上げ日から 本体 1 年間
※お買い上げ日	年　月　日
※お客様	ご住所 お名前　様 電　話（　）　−
※販売店	住所・店名 電話（　）　−

パナソニック株式会社 キッチンアプライアンスビジネスユニット
〒673－1447 兵庫県加東市佐保５番地 電話（0795）42－7000

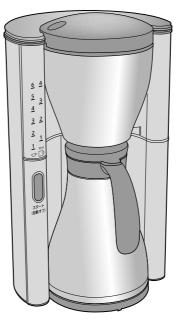
ご販売店様へ　※印欄は必ず記入してお渡しください。

切取線

Panasonic

取扱説明書

コーヒーメーカー（家庭用）

品番 NC−P26

深い香りクリアなおいしさ

プロのハンドドリップを再現

●真空ステンレスポットで美味しくコーヒーを保温
●ソフトシャワードリップで美味しくコーヒーを抽出

もくじ　ページ

ご使用前に

使いかた

困った時に

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
●取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
●ご使用前に**「安全上のご注意」（1～2ページ）を必ずお読みください。**
●保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

パナソニックの会員サイト「CLUB Panasonic」で「**ご愛用者登録**」をしてください。（13ページご参照）

保証書付き

CZ45-150
S1011Y0

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

してはいけない内容です。

実行しなければならない内容です。

⚠警告

電源は、交流100V専用コンセントを使用する

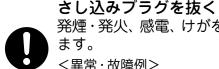
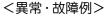
感電や火災の原因になります。

さし込みプラグはコンセントの奥までしっかりさし込む

感電・ショート・発煙・発火のおそれがあります。

定格15A以上のコンセントを単独で使用する

他の器具と併用すると、分岐コンセント部が異常発熱して発火することがあります。

異常・故障時には、直ちに使用を中止し、さし込みプラグを抜く

発煙・発火、感電、けがをするおそれがあります。

<異常・故障例>
- ●さし込みプラグ・電源コードが異常に熱くなる。
- ●さし込みプラグ・電源コードに傷が付いていたり触れると通電したりしなかったりする。
- ●本体が異常に熱い。
- ●コゲくさいにおいがする。
- ●その他の異常・故障がある。

※すぐにお買上げの販売店へ点検、修理を依頼してください。

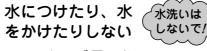
改造はしない。また、修理技術者以外の人は、分解したり修理をしない

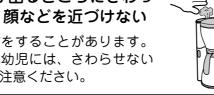
火災・感電・けがの原因となります。
修理は、お買上げの販売店にご相談ください。

ぬれた手でさし込みプラグを抜きさししない

感電やけがをすることがあります。

水につけたり、水をかけたりしない

ショート・感電のおそれがあります。

蒸気が出るところにさわったり、顔などを近づけない

やけどをすることがあります。
特に乳幼児には、さわらせないようご注意ください。

電源コードやさし込みプラグが傷んでいたり、コンセントへのさし込みがゆるい時は使用しない

感電・ショート・発火の原因になります。

電源コードを破損させたり、無理な方向に引張ったり、加工しない（無理に曲げる・引っ張る・ねじる・たばねる・重い物を載せる・挟みこむなど）

電源コードが傷付いて、火災・感電の原因になります。

子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使わない

やけど・感電・けがをするおそれがあります。

ポットなしで使わない

やけどをするおそれがあります。

⚠注意

さし込みプラグを抜く時は、電源コードを持たずに必ずさし込みプラグを持って引き抜く

感電やショートによる発火を防ぐためです。

お手入れは冷えてから行う

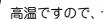
高温部に触れ、やけどのおそれがあります。

使用時以外は、さし込みプラグをコンセントから抜く

けがや、やけど、絶縁劣化による感電・漏電火災を防ぐためです。

部品の取り付け、取りはずし、お手入れする時は さし込みプラグをコンセントから抜く

けがや、やけどをするおそれがあります。

使用中や使用後しばらくは、水容器ふた、バスケットホルダー、活性炭フィルター、しずく漏れ防止弁に触れない

高温ですので、やけどをすることがあります。

抽出中にポットをはずさない

熱湯が飛び散りやけどの原因になります。

使用中や使用後しばらくは、本体を動かさない。本体を持ち運ぶ時は、ポットをはずす

コーヒー・湯がこぼれて、やけど・故障の原因になります。

不安定な場所や熱に弱い敷物の上、水にぬれた場所では使用しない

火災・感電の原因になります。

壁や家具の近くで使用しない

蒸気または熱で壁や家具を傷め、変色・変形の原因になります。

お願い

●続けてコーヒーや紅茶を作る場合はランプが消えている状態で、5分以上待つ

本体が熱いうちに給水したり、動かしたりすると活性炭フィルターから蒸気や熱湯が出るおそれがあります。

●空だきをしない

ドリップ終了後、水容器に水が入っていない状態で「**スタート**」ボタンを3秒以上押し続けないでください。
ヒーターが異常過熱され、温度ヒューズが溶断することがあります。

●水容器に湯・コーヒー・紅茶・牛乳・酒など、水以外のものを入れない

故障の原因になります。

●水容器ふたや、上面に物を載せない

故障の原因になります。

●使用中にふきんなどをかぶせない

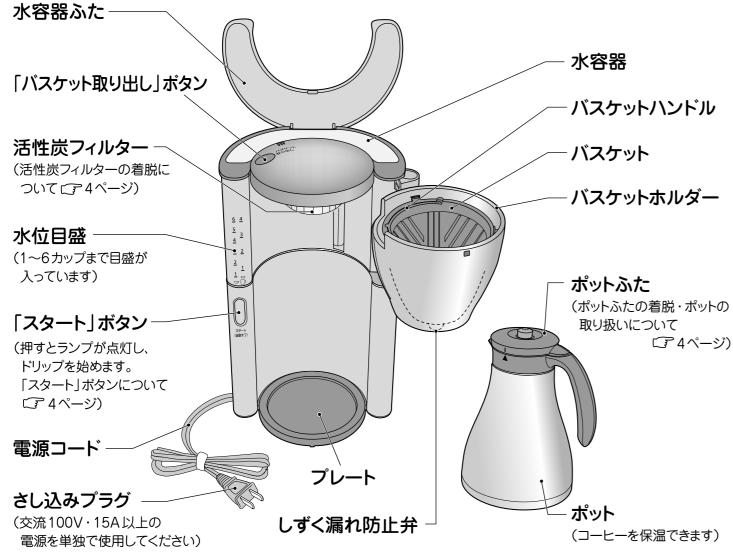
故障の原因になります。

●ドリップ中はポットをはずさない

ドリップ中にバスケットホルダーからコーヒーがあふれることがあります。

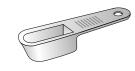
●ポットふたの内部に水が入った状態で使用しない（☞10ページ）

ドリップ中にポットふた上部からコーヒーがあふれることがあります。

各部のなまえ

※本体に保温機能はついていません。

付属品

●計量スプーン（1個）

〈すりきり1杯〉
コーヒー：約8g
紅茶　：約6〜8g

●ティーサーバー（1個）

紅茶などに使用

●ペーパーフィルター[消耗品]

市販のものをお求めの際は（1×2）または（102）サイズをお求めください。

活性炭フィルター[消耗品]（1個）

沸騰した湯が活性炭フィルターを通り、カルキ臭などを減らします。

<交換の目安>
水質や使いかたにより異なりますが、約2年に1回が目安です。（1日1回使用した場合）

※水質などにより、活性炭フィルターが茶色く変色する場合がありますが、使用上差し支えありません。

各部の扱いかた

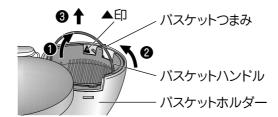
バスケットホルダー・バスケットの着脱について

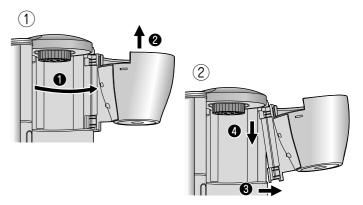
●バスケットホルダーの開けかた

「バスケット取り出し」ボタンを押しながら、バスケットホルダーを手前に引いて開ける。

●バスケットの着脱のしかた

バスケットハンドルを起こし（矢印❶）バスケットを矢印❷の「**はずす**」方向に回転させ、上に持ち上げます。（矢印❸）

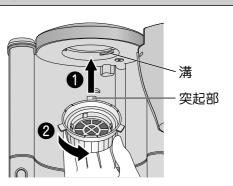
※取り付けの時は、バスケットつまみの位置をバスケットホルダーの内側の▲印に合わせてから、はずしかたと逆の手順で取り付けます。

●バスケットホルダーのはずしかた

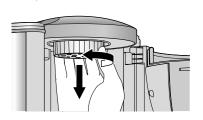
①バスケットホルダーを矢印❶の方向に全開し、矢印❷の方向に引き上げます。
②バスケットホルダーの下側を❸の方向に引き、上側を❹の方向に外します。

●バスケットホルダーの取り付けかた

取り付ける時は、はずしかたと逆の手順で取り付け、「カチッ」と音がするまで閉めます。

活性炭フィルターの着脱について

●取り付けかた

❶ 活性炭フィルター突起部の1ケ所を本体奥側に合わせてさし込む。
❷ 活性炭フィルター突起部が溝に入るまで、矢印の方向に回す。

●はずしかた

矢印の方向に回してはずす。

使用直後は内部に湯が残っている場合があります。
やけどをするおそれがありますので、充分冷ましてから取りはずし、取り付けをしてください。

「スタート」ボタンについて

「スタート」ボタンは「入」専用、自動オフです。

●ドリップが終わると自動的に電源が切れますので、**「スタート」ボタンを押さないでください。途中で使用を中止する時は、さし込みプラグをコンセントから抜いてください。**

ポットふたの着脱・ポットの取り扱いについて

※ポットふたの内部に水が入った状態で使用しないでください。ふたを振って中の水を出してから、ご使用ください。

●はずしかた

ふたを矢印❶の方向に約90度回すと外れます。

●取りつけかた

ふたの▼印と取っ手の▲印が合うようにふたを入れて、❷の方向にふたの❙印と取っ手の▲印が合うまで回転させて取り付けます。

ポットを安全にお使いいただき破損を防ぐために、下記注意事項をお守りください。

●直火にかけたり、電子レンジで使わない。
●落としたり、硬いものにぶつけたりしない。
●みがき粉、研磨剤入りのスポンジ、金属たわしなどは表面を傷つけるので使用しない。

初めてご使用になる時は

初めてご使用になる時や、長期間保管されていた場合は、次のように洗浄してください。

①活性炭フィルターを図のように水で洗い流してから取り付ける。
（洗剤・漂白剤・ブラシなどは使わない）

②ポット、ポットふた、バスケットを洗って取り付ける。

③水位目盛の「6」まで水を入れる。

④さし込みプラグをコンセントにさし込み、「スタート」ボタンを押して湯だけを抽出する。

⑤ポットの湯を捨て、③〜④を1〜2回繰り返す。

※抽出した湯に活性炭の黒い繊維が浮いていることがあります。
この場合ご使用になる前にもう一度活性炭フィルターを水で洗い流してください。

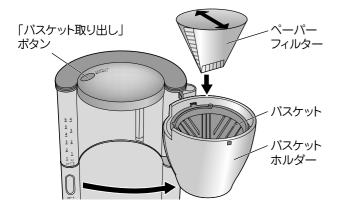
1 バスケットにペーパーフィルターを取り付け、コーヒー粉を入れる

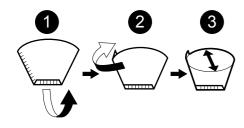
①「バスケット取り出し」ボタンを押しながら、バスケットホルダーを開けます。

②バスケットホルダーにセットしたバスケットにペーパーフィルターを入れ、軽く押さえます。

③付属の計量スプーンでコーヒー粉を量ってペーパーフィルター内に均一に入れます。

④バスケットホルダーを閉めます。

※バスケットホルダーを閉める時は、ペーパーフィルターが折れ曲がったり、バスケットにはさまったりしないよう注意してください。
ドリップの際にコーヒー粉がもれて、ポットに入ることがあります。

ペーパーフィルターの折りかた

ペーパーフィルターのミシン目を折り曲げ、しっかり広げて取り付けます。

コーヒー粉量の目安

●アイスの場合、アイスコーヒー用粉もご使用いただけます。

カップ数	カップ		マグ
6カップ	すりきり	6杯	——
5カップ	すりきり	5杯	
4カップ	すりきり	4杯	すりきり6杯
3カップ	すりきり	3杯	すりきり4杯と1/2
2カップ	すりきり	2杯	すりきり3杯
1カップ	すりきり1杯と1/2		すりきり1杯と4/5

計量スプーンの目盛りについて

4/5（目盛り上）
1/2（目盛り中）
2/5（目盛り下）

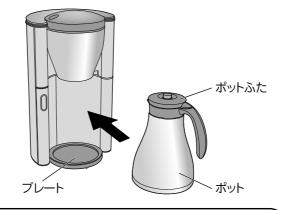
●**コーヒー粉はペーパーフィルター用中びき粉を使用してください。**

細びき粉を使用しますとペーパーフィルターが目づまりし、バスケットホルダーからコーヒーがあふれることがあります。

●**計量スプーン6杯を超えるコーヒー粉を入れないでください。**

コーヒーがあふれることがあります。

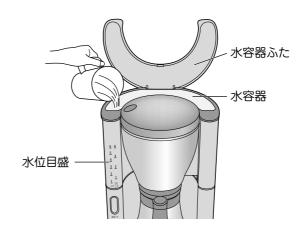
2 ポットをプレートの上に取り付ける

●ポットふたが閉められていることを確認してから、ポットをプレートの上に確実に取り付けてください。

●ポットふたの内部に水が入っていないことと、パッキンが取り付けられていることを確認してから閉めてください。
（お手入れ ☞10ページ）

※ポットふたを取り付けていないと、コーヒーがバスケットホルダーからあふれ出ます。

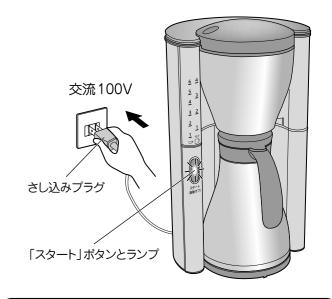
3 水容器に水を入れる

①水容器ふたを開けます。必要なカップ数の水を水位目盛に合わせて、こぼれないように水容器に注ぎます。

②水容器ふたを閉めます。

●水位目盛「6」を超える水を入れないでください。
ポットからコーヒーがあふれ出ます。

4 さし込みプラグをさし込み「スタート」ボタンを押す

●「スタート」ボタンを押すと、ランプが点灯し、ドリップを始めます。

●ドリップが終わると自動的に電源が切れ、ランプが消灯します。

●**ドリップ中に水を追加しないでください。**

●ドリップの途中でポットを取り出さないでください。
コーヒーがポットにドリップされず、バスケットホルダーからあふれます。

でき上がり時間の目安

カップ数	カップ	マグ
6カップ	約 7 分	
5カップ	約 6 分	
4カップ	約5.5分	約 7 分
3カップ	約4.5分	約 6 分
2カップ	約3.5分	約4.5分
1カップ	約2.5分	約 3 分

＊水温：約20℃の場合

●**でき上がり時間は水温、室温、電圧などで変わることがあります。**

●**1カップ分の標準でき上がり量は、ホットで約120mLマグカップで約180mLです。**
コーヒー粉の種類や量、粗さにより、でき上がり量が変わります。

コーヒーの作りかた

5 コーヒーを注ぐ

保温(保温ヒーターは付いていません)

ポットはステンレス製で保温性に優れていますが、コーヒーは長時間保温すると風味を失いますので早めにお召しあがりください。

ご使用後は

さし込みプラグをコンセントから抜いてください。

途中で使用を中止する時は

①さし込みプラグをコンセントから抜いてください。
②ドリップが完全に終わってからポットを引き出してください。
③バスケットを取りはずしてください。
④水容器に残った水は、本体が冷めてから本体をぬらさないよう図のように捨ててください。

アイスコーヒーを作る場合

★ 準備
- ●アイスコーヒー用粉
- ●氷
- ●お好みによりシロップ・生クリームなど

★ 手順

①アイスコーヒー用粉を入れます。コーヒー粉の量は、ホットコーヒーと同じです。
②ポットに氷を入れます。
6カップ分の場合はポットの約8分目まで入れます。

③水容器に水を必要なカップ数の**半分の目盛**まで入れます。
※水を水容器の半分以上入れると氷がすでに入っていますのであふれます。
④ドリップします。
⑤ドリップが終了したらポットを取り出し、1〜2分そのまま置き、軽く左右に振ってから、氷を入れたグラスに注いでください。

コーヒー粉の量・氷・水量はお好みに合わせてお作りください。

続けてコーヒーを作る時は

①ランプが消えている状態で5分以上待ちます。
②「コーヒーの作りかた」(☞5〜7ページ)をくり返してください。

本体が高温になっていますので、やけどなどに充分注意してください。
本体が熱いうちに給水したり動かしたりすると活性炭フィルターから蒸気や熱湯が出るおそれがあり、やけどの原因になります。

おいしいコーヒーを飲むために

①**風味を損なわないために**
長時間保温するとコーヒーは酸味が出てくるので、飲み切れる量だけ作るようにしましょう。
②**コーヒー粉は新しいものを使いましょう**
開封後はできるだけ早くお使いください。
密封容器に入れ、冷蔵庫で保存してください。
③**熱いコーヒーを飲むために**
- ●カップは温めておきましょう。
- ●少量の時や室温が低い時はポットにコーヒーの熱がとられ、コーヒーの温度が低くなりますので、ご使用前にポットとカップにお湯を入れて温めておくとよいでしょう。

紅茶の作りかた

1 バスケットにティーサーバーをセットし、その中にペーパーフィルターを取り付け、紅茶の葉を入れる

①「バスケット取り出し」ボタンを押しながら、バスケットホルダーを開けます。
②バスケットホルダーのバスケットにティーサーバーとペーパーフィルターを入れ、軽く押さえます。
③付属の計量スプーンで紅茶の葉を量ってペーパーフィルター内に均一に入れます。
④バスケットホルダーを閉めます。
※バスケットホルダーを閉める時は、ペーパーフィルターが折れ曲がったり、バスケットにはさまったりしないよう注意してください。抽出の際に紅茶の葉がもれて、ポットに入ることがあります。

紅茶の葉量の目安

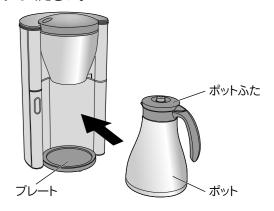
●お好みにより量を加減してください。

カップ数	ホット・アイス(計量スプーン)		マグカップ(計量スプーン)	
	細かい葉	大きい葉	細かい葉	大きい葉
6カップ	すりきり1杯と2/5	すりきり1杯と4/5	———	
5カップ	すりきり1杯	すりきり1杯と1/2		
4カップ	4/5	すりきり1杯と1/2	すりきり1杯と2/5	すりきり1杯と4/5
3カップ	1/2	すりきり1杯	4/5	すりきり1杯と2/5
2カップ	2/5	4/5	1/2	すりきり1杯
1カップ	2/5の半量	1/2	2/5	4/5

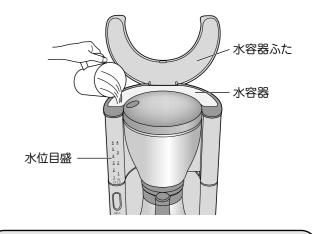
計量スプーンの目盛りについて

4/5(目盛り上)
1/2(目盛り中)
2/5(目盛り下)

2 ポットをプレートの上に取り付ける

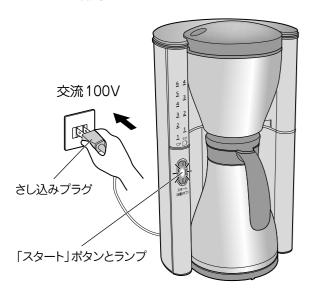
●ポットふたが閉められていることを確認してから、ポットをプレートの上に確実に取り付けてください。

●ポットふたの内部に水が入っていないことと、パッキンが取り付けられていることを確認してから閉めてください。
(お手入れ ☞10ページ)
※ポットふたを取り付けていないと、紅茶がバスケットホルダーからあふれ出ます。

3 水容器に水を入れる

①水容器ふたを開けます。必要なカップ数の水を水位目盛に合わせて、こぼれないように水容器に注ぎます。
②水容器ふたを閉めます。

●水位目盛「6」を超える水を入れないでください。ポットから紅茶があふれ出ます。

4 さし込みプラグをさし込み「スタート」ボタンを押す

●「スタート」ボタンを押すと、ランプが点灯し、抽出を始めます。

●抽出が終わると自動的に電源が切れ、ランプが消灯します。

●抽出中に水を追加しないでください。

●抽出の途中でポットを取り出さないでください。紅茶がポットに抽出されず、バスケットホルダーからあふれます。

でき上がり時間の目安

カップ数	(カップ)	マグ
6カップ	約 7 分	
5カップ	約 6 分	
4カップ	約5.5分	約 7 分
3カップ	約4.5分	約 6 分
2カップ	約3.5分	約4.5分
1カップ	約2.5分	約 3 分

*水温：約20℃の場合

●でき上がり時間は水温、室温、電圧などで変わることがあります。

●1カップ分の標準でき上がり量は、ホットで約120mL マグカップで約180mLです。
紅茶の葉の種類や大きさにより、ティーサーバーの中に少し紅茶が残ることがあります。

途中で使用を中止する時は

●コーヒーの作りかた（☞7ページ）参照

5 紅茶を注ぐ

保温（保温ヒーターは付いていません）

ポットはステンレス製で保温性に優れていますが、紅茶は長時間保温すると風味を失いますので早めにお召しあがりください。

ご使用後は

さし込みプラグをコンセントから抜いてください。

続けて紅茶を作る時は

①ランプが消えている状態で5分以上待ちます。

②「紅茶の作りかた」（☞8〜9ページ）をくり返してください。

本体が高温になっていますので、やけどなどに充分注意してください。
本体が熱いうちに給水したり動かしたりすると活性炭フィルターから蒸気や熱湯が出るおそれがあり、やけどの原因になります。

アイスティーを作る場合

グラスに氷を約8分目まで入れて、でき上がった紅茶を注ぎ、かき混ぜて冷やします。
できたての紅茶を氷に注ぐことにより紅茶が濁らずおいしくできます。

中国茶もできます！

ティーサーバーにペーパーフィルターを入れ、茶葉を入れます。「紅茶の作りかた」（☞8〜9ページ）の手順で抽出し、カップに注ぎます。

●必ずさし込みプラグを抜き、本体が冷めてから早めに行ってください。

●食器用中性洗剤とスポンジ・布などをお使いください。ベンジン・シンナー・みがき粉・たわしなどは表面を傷つけますので使わないでください。

●食器用乾燥器・食器洗い乾燥機を使わないでください。部品の変形の原因になります。

●熱湯を使ったり、熱湯に入れたりしないでください。部品の変形の原因になります。

水洗いできないもの

●**本体**
食器用中性洗剤を入れた水にふきんを浸し固くしぼったものでふき、さらに乾いた布でふき取ります。

●水につけたり、水をかけたりしないでください。

水洗いできるもの

●**ポット・ポットふた**
やわらかいスポンジできれいに洗い、水でよくすすぎます。
みがき粉・研磨剤入りのスポンジ・金属たわしなどは、使わないでください。表面を傷つけます。

ポットふたを洗った後は

●ポットふた内部に水が残らないよう、裏面と側面の穴から充分水を切ってください。

●パッキンが取り付けられていることを確認してください。

●**バスケット**
やわらかいスポンジできれいに洗い、水でよくすすぎます。

●**活性炭フィルター**
目づまりを防ぐため、ご使用のたびに水で洗い流します。
洗剤・漂白剤・ブラシなどは使わないでください。

湯の出方が悪くなった時は

水質によっては本体内の水管に湯アカが付着し、湯の出方が悪くなることがあります。
このような時は次の方法でお手入れしてください。

①必ず活性炭フィルターをはずす。
（付いたまま洗浄するとにおいが残ります）

②本体にバスケットとバスケットホルダーを取り付け、ポットふたを取り付けたポットをプレートにのせる。

③別容器にクエン酸（別売品 ☞11ページ）約10g（大さじ1）と水を入れ、はしなどでかき混ぜてよく溶かす。

④水容器に③を入れ、水容器の水位目盛「6」まで水を加え、はしなどでかき混ぜる。

⑤さし込みプラグを差し込み、「スタート」ボタンを押す。

⑥電源が切れ、ランプが消灯すれば、湯を捨てる。

⑦水だけで1〜2回繰り返す。
（クエン酸のにおいを取る）

●活性炭フィルターを付けたまま、クエン酸で洗浄してしまった場合は、活性炭フィルターを流し洗いしてください。（クエン酸のにおいを取るため）

故障かな？と思ったら

修理を依頼される前にお確かめください。

こんな場合	調べるところ	処置
コーヒー・紅茶が抽出されない	●さし込みプラグが抜けていませんか?	☞ コンセントにさし込んでください。
	●「スタート」ボタンを押しましたか?	☞「スタート」ボタンを押し、ランプが点灯しているか確認してください。
コーヒー・紅茶があふれる	●ペーパーフィルターが浮いたり、折れ曲がったりしていませんか?	☞ 確実に取り付けてください。
	●ポットがセットされていますか?	☞ ポットをセットしてください。
	●ポットふたを取り付けていますか?	☞ ポットふたを取り付けてください。
	●水位目盛の「6」を超える水を入れていませんか?	☞「6」以上入れないでください。
	●計量スプーンすりきり6杯を超えるコーヒー粉や2杯を超える紅茶の葉を入れていませんか?	☞ すりきり6杯以上のコーヒー粉や2杯以上の紅茶の葉を入れないでください。
	●コーヒー粉が細かすぎませんか?	☞ 細びき粉は使用しないでください。
	●バスケットが奥まできっちりセットされていますか?	☞ 確実に取り付けてください。
抽出液に黒い繊維状のものが浮いている	●活性炭フィルター内部の活性炭の繊維が抽出時に落ちることがあります。	☞ 活性炭フィルターを水で洗い流してから取り付けてください。
湯の出方が悪い	●本体内の水管に湯アカが付着しているおそれがあります。	☞ 10ページの「湯の出方が悪くなった時は」に従って、湯アカを取り除いてください。

以上のことをお確かめになり、それでも調子が悪い時はただちに使用を中止し、お買上げの販売店にご連絡ください。

部品を購入する場合は

販売店や、パナソニックの家電製品直販サイト「パナセンス」でもお買い求めいただけるものもあります。
詳しくは「パナセンス」のサイトをご覧ください。

CLUB Panasonic
Pana Sense　http://club.panasonic.jp/mall/sense/

部品名	部品番号
計量スプーン	ACK10-150-W1
ペーパーフィルター(50枚)	ANC362S-5370
活性炭フィルター	ACB28-150K0U
ポット	ACV80-150K0U
ジャーポット洗浄用クエン酸	SAN-80(40g×2パック)

ジャーポット洗浄用クエン酸は・・・※200g、400g入りもあります。
※添付の注意書をお守りください。
※食品添加物につき、食品衛生上無害です。

保証とアフターサービス

よくお読みください。

使いかた・お手入れ・修理などは

■まず、お買い上げの販売店へ ご相談ください

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名
電　話　（　　　）　－
お買い上げ日　　年　　月　　日

修理を依頼されるときは

「故障かな?と思ったら」(11ページ)でご確認のあと、直らないときは、まずさし込みプラグを抜いて、お買い上げ日と下の内容をご連絡ください。

●製品名	コーヒーメーカー
●品　番	NC-P26
●故障の状況	できるだけ具体的に

- ●保証期間中は、保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が修理をさせていただきますので、おそれ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。　保証期間：お買い上げ日から本体1年間
- ●保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により修理させていただきます。

※修理料金は次の内容で構成されています。

技術料	診断・修理・調整・点検などの費用
部品代	部品および補助材料代
出張料	技術者を派遣する費用

※補修用性能部品の保有期間　5年
当社は、このコーヒーメーカーの補修用性能部品(製品の機能を維持するための部品)を、製造打ち切り後5年保有しています。

■転居や贈答品などでお困りの場合は、次の窓口にご相談ください

ご使用の回線(IP電話やひかり電話など)によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

●使いかた・お手入れなどのご相談は……

パナソニック お客様ご相談センター　365日 受付9時～20時
電話 フリーダイヤル 0120-878-365
※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

●修理に関するご相談は……

パナソニック 修理ご相談窓口
電話 フリーダイヤル 0120-878-554
※携帯電話・PHSからもご利用になれます。
• 上記電話番号がご利用いただけない場合は、各地域の「修理ご相談窓口」におかけください。

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】
パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

■各地域の修理ご相談窓口 ※電話番号をよくお確かめの上、おかけください。

• 地区・時間帯によって、集中修理ご相談窓口に転送させていただく場合がございます。

地区	窓口	電話	所在地
北海道地区	札幌	☎(011)894-1251	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7
	旭川	☎(0166)22-3011	旭川市2条通16丁目1166
	帯広	☎(0155)33-8477	帯広市西20条北2丁目23-3
	函館	☎(0138)48-6631	函館市西桔梗589番地241(函館流通卸センター内)
東北地区	青森	☎(017)775-0326	青森市大字浜田字豊田364
	秋田	☎(018)868-7008	秋田市外旭川字小谷地3-1
	岩手	☎(019)645-6130	盛岡市厨川5丁目1-43
	宮城	☎(022)387-1117	仙台市宮城野区扇町7-4-18
	山形	☎(023)641-8100	山形市平清水1丁目1-75
	福島	☎(024)991-9308	郡山市亀田1丁目51-15
首都圏地区	栃木	☎(028)689-2555	宇都宮市上戸祭3丁目3-19
	群馬	☎(027)254-2075	前橋市箱田町325-1
	茨城	☎(029)864-8756	つくば市筑穂3丁目15-3
	埼玉	☎(048)728-8960	桶川市赤堀2丁目4-2
	千葉	☎(043)208-6034	千葉市中央区末広5丁目9-5
	東京	☎(03)5477-9700	東京都世田谷区宮坂2丁目26-17
	山梨	☎(055)222-5822	甲府市宝1丁目4-13
	神奈川	☎(045)847-9720	横浜市港南区日野5丁目3-16
	新潟	☎(025)286-0180	新潟市東区東明1丁目8-14
中部地区	石川	☎(076)280-6608	金沢市玉鉾2丁目266番地
	富山	☎(076)424-2549	富山市根塚町1丁目1-4
	福井	☎(0776)21-0622	福井市問屋町2丁目14
	長野	☎(0263)86-9209	松本市寿北7丁目3-11
	静岡	☎(054)287-9000	静岡市駿河区高松2丁目24-24
	愛知	☎(052)819-0225	名古屋市瑞穂区塩入町8-10
	岐阜	☎(058)278-6720	岐阜市中鶉4丁目42
	三重	☎(059)254-5520	津市久居野村町字山神421
近畿地区	滋賀	☎(077)582-5021	守山市水保町1166番地の1
	京都	☎(075)646-2123	京都市南区上鳥羽中河原3番地
	大阪	☎(06)7730-8888	大阪市城東区関目2丁目15-5
	奈良	☎(0743)59-2770	大和郡山市筒井町800番地
	和歌山	☎(073)475-2984	和歌山市中島499-1
	兵庫	☎(078)796-3140	神戸市須磨区弥栄台3丁目13-4
中国地区	鳥取	☎(0857)26-9695	鳥取市安長295-1
	米子	☎(0859)34-2129	米子市米原4丁目2-33
	松江	☎(0852)23-1128	松江市平成町182番地14
	出雲	☎(0853)21-3133	出雲市渡橋町416
	浜田	☎(0855)22-6629	浜田市下府町327-93
	岡山	☎(086)242-6236	岡山市北区野田3丁目20番8号
	広島	☎(082)295-5011	広島市西区南観音1丁目13-5
	山口	☎(083)973-2720	山口市小郡下郷220-1
四国地区	香川	☎(087)874-3110	高松市国分寺町国分359番地3
	徳島	☎(088)624-0253	徳島市沖浜2丁目36
	高知	☎(088)834-3142	高知市仲田町2-16
	愛媛	☎(089)905-7544	愛媛県伊予郡砥部町八倉75-1
九州地区	福岡	☎(092)593-8002	春日市春日公園3丁目48
	佐賀	☎(0952)26-9151	佐賀市鍋島町大字八戸字上深町3044
	長崎	☎(095)830-1658	長崎市東町1919-1
	大分	☎(097)556-3815	大分市萩原4丁目8-35
	宮崎	☎(0985)63-1213	宮崎市本郷北方字草葉2099-2
	熊本	☎(096)367-6067	熊本市健軍本町12-3
	鹿児島	☎(099)250-5657	鹿児島市与次郎1丁目5-33
	大島	☎(0997)53-5101	奄美市名瀬朝仁町11-2
沖縄地区	沖縄	☎(098)877-1207	浦添市城間4丁目23-11

所在地、電話番号は変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。
最新の「各地域の修理ご相談窓口」はホームページをご活用ください。http://panasonic.co.jp/cs/service/area.html　0511

仕様

電源	交流 100 V　50／60 Hz　共用
消費電力	850 W
外形寸法	幅 約19.4×奥行 約18.3×高さ 約33.6（cm）
質量	約2.5 kg
最大使用水量	800 mL
温度ヒューズ	216 ℃
コードの長さ	約1.0 m

●この製品は、日本国内用に設計されています。電源電圧や電源周波数の異なる外国では使用できません。
また、アフターサービスもできません。

パナソニックの会員サイト「CLUB Panasonic」で「ご愛用者登録」をしてください

- 特典1　お宅の家電情報をまとめて登録／管理ができる
- 特典2　使い方など商品情報をスムーズに入手できる
- 特典3　エンジョイポイントをためてプレゼントに応募できる

http://club.panasonic.jp/

※このサービスは
WEB限定のサービスです。

●使いかた・お手入れなどのご相談は……

パナソニック 総合お客様サポートサイト
http://panasonic.co.jp/cs/

パナソニック お客様ご相談センター　365日 受付9時～20時
電話 フリーダイヤル **0120-878-365**
※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

音声ガイダンスを短くするには、案内が聞こえたら電話機ボタンの
「87」と「340＃」を押してください。
（番号を押しても案内が続く場合は、「＊」ボタンを押してから操作してください。）

■上記番号がご利用いただけない場合
06-6907-1187
■FAX　フリーダイヤル
0120-878-236

Help desk for foreign residents in Japan　**Tokyo** (03) 3256 - 5444　**Osaka** (06) 6645 - 8787
Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays / Sundays / national holidays)
※上記の内容は、予告なく変更する場合があります。ご了承ください。

●修理に関するご相談は……

パナソニック 修理サービスサイト
http://club.panasonic.jp/repair/
インターネットでのご依頼も可能です。

パナソニック 修理ご相談窓口
電話 フリーダイヤル **0120-878-554**
※携帯電話・PHSからもご利用になれます。
• 上記電話番号がご利用いただけない場合は、
各地域の「修理ご相談窓口」におかけください。

ご使用の回線（IP電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。
本書の「保証とアフターサービス」もご覧ください。

愛情点検　長年ご使用のコーヒーメーカーの点検を！

こんな症状はありませんか

- ●さし込みプラグ・電源コードが異常に熱くなる。
- ●さし込みプラグ・電源コードに傷が付いていたり触れると通電したりしなかったりする。
- ●本体が異常に熱い。
- ●コゲくさいにおいがする。
- ●その他の異常・故障がある。

ご使用中止

事故防止のため、使用を中止し、コンセントからさし込みプラグを抜いて、必ず販売店に点検をご依頼ください。

パナソニック株式会社 キッチンアプライアンスビジネスユニット
〒673-1447　兵庫県加東市佐保５番地

〈無料修理規定〉

1. 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
   （イ）無料修理をご依頼になる場合には、商品に取扱説明書から切り離した本書を添えていただきお買い上げの販売店にお申しつけください。
   （ロ）お買い上げの販売店に無料修理をご依頼にならない場合には、お近くの修理ご相談窓口にご連絡ください。
2. ご転居の場合の修理ご依頼先等は、お買い上げの販売店またはお近くの修理ご相談窓口にご相談ください。
3. ご贈答品等で本保証書に記入の販売店で無料修理をお受けになれない場合には、お近くの修理ご相談窓口へご連絡ください。
4. 保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
   （イ）使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
   （ロ）お買い上げ後の取付場所の移設、輸送、落下などによる故障及び損傷
   （ハ）火災、地震、水害、落雷、その他天災地変及び公害、塩害、ガス害（硫化ガスなど）、異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）などによる故障及び損傷
   （ニ）車両、船舶等に搭載された場合に生ずる故障及び損傷
   （ホ）一般家庭用以外（例えば業務用など）に使用された場合の故障及び損傷
   （ヘ）本書のご添付がない場合
   （ト）本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
   （チ）持込修理の対象商品を直接修理窓口へ送付した場合の送料等はお客様の負担となります。また、出張修理等を行った場合には、出張料はお客様の負担となります。
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。
6. 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
7. お近くのご相談窓口は取扱説明書の保証とアフターサービス欄をご参照ください。
   （ご相談窓口一覧表を同梱の場合）
   お近くのご相談窓口は同梱別紙の一覧表をご参照ください。

修理メモ

※お客様にご記入いただいた個人情報（保証書控）は、保証期間内の無料修理対応及びその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますのでご了承ください。
※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、保証書を発行している者（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはお近くの修理ご相談窓口にお問い合わせください。
※保証期間経過後の修理や補修用性能部品の保有期間については取扱説明書の「保証とアフターサービス」をご覧ください。
※ This warranty is valid only in Japan.